

Asset management solutions  
To support your business objectives



**Tivoli** software

## IT 資産と IT サービスの包括的管理ソリューション 経営視点の運用管理を ITIL ベースで実現

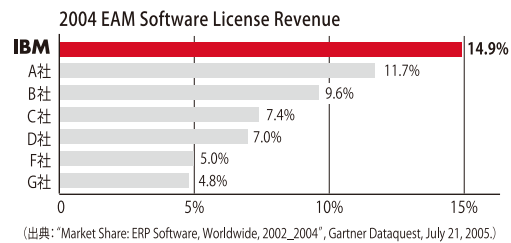


## そのITはビジネス価値を生み出していますか？

ITインフラの管理は、これまで多くの場合IT部門の役割にとどまり、コストセンターとして認識されてきました。しかしこれからは、IT資産の現状を把握・分析し、ユーザへのITサービス提供を向上させ、ビジネスの価値創造を目指す前向きな発想が求められています。IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは、数々の実績と高い評価を受け継いだIT資産とITサービスの包括的管理ソリューションとして、お客様をトータルに支援します。

### 企業資産管理 (EAM:Enterprise Asset Management) 分野で 世界トップの実績を持つIBM Maximo

IBM Maximoは、すでに工場施設・プラント、およびIT資産の保全を含む包括的な企業資産管理ソリューションで世界トップの実績を誇っています。全世界で38年にわたってあらゆる業界にソリューションを提供しており、戦略的資産管理Maximoは103カ国の企業に利用されている世界No.1のパッケージソフトです。

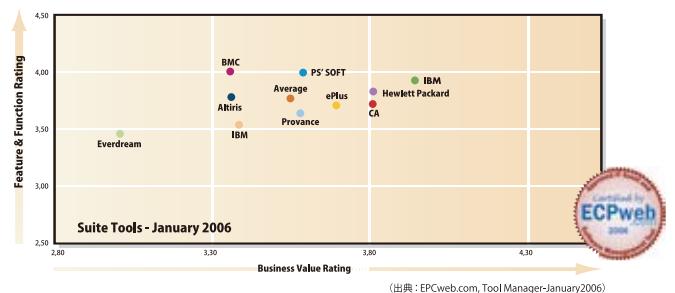


### 世界のトップ企業が 10,000以上の事業所で採用

世界No.1の導入実績を誇る企業資産管理ソリューションMaximoはあらゆる設備や施設における安全管理の実績が評価され、世界のトップ企業を含む10,000以上の事業所で採用され、30万を超えるエンドユーザが利用しています。IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは「IBM Maximo」と単一プラットフォームで稼働します。

### No.1評価を Tools Manager誌で獲得

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションの重要エレメントであるIBM Tivoli Asset Management for ITは、ECP社のTools Manager誌で最高のビジネスバリュー評価を獲得しました。ECPは、資産／サービス／ソフトウェア管理ソリューションに関するリサーチや分析を行う出版社で、Tools Manager誌は北米／南米／欧州を中心に出版されています。



## 最先端のIT資産管理、 ITサービス管理を包括的に実現

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは、IT資産とITサービスの最適化にフォーカスしたソリューションです。お客様が保有する有形／無形のIT資産を多面的に把握、関連づけを行い、ダッシュボード機能によりKPIのモニタリングを行うことが可能です。ビジネス・ユーザが最高のITサービスを利用して快適に業務を遂行できるよう、また、それらにかかるコストを最小限に押さえ、経営者が目に見える形で戦略強化に活用できるよう支援します。

## 運用最適化の標準フレームワークであるITILに 単一プラットフォームで対応

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは、お客様のITインフラに関する管理を、調達、契約、作業、資産、サービスを含むすべての側面から行えます。また、システム運用をベストプラクティスによって効率化するための標準化フレームワーク、ITIL (IT Infrastructure Library) の導入に必要な管理モジュールを備えています。

## 日本版SOX法も視野に入れた アカウントビリティを実現

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションを導入すれば、IT資産の活用状況が明確になり、ITサービスに関するプロセス・ベースの情報がレポートされるため、アカウントビリティの向上や内部統制の確立を進めることが可能です。

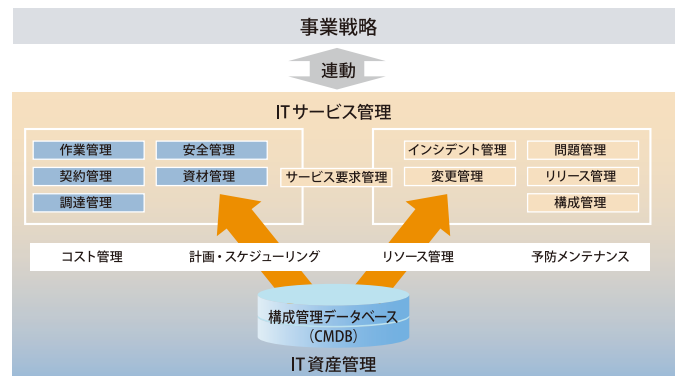


# 1つのプラットフォームでIT資産管理・ITサービス管理に必要なすべての機能をサポートします

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションでは共通データベースをもとに2つの主要なコンポーネント、IBM Tivoli Asset Management for ITとIBM Tivoli Service Deskが協調。IT資産の管理を行うという視点から必要となる管理機能を、1つのプラットフォーム上ですべて提供します。また、Maximo Navigatorなどのツール群が優れた自動化機能を提供します。

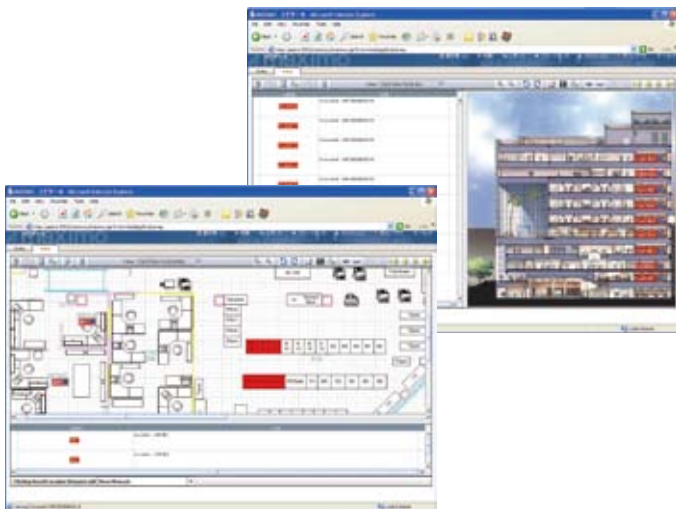
## 構成管理データベース(CMDB)の一元化、IT資産管理、ITサービス管理の融合による、リアルタイムITSMのプラットフォーム

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションでは、ITILのガイドラインに適合した単一のデータベースCMDBによって、あらゆるデータを一元的に管理しており、全てのITSMプロセスがシームレスに連動します。ITSMの複雑性が大幅に緩和され、リアルタイムな処理を容易に行うことができます。この融合性の高いITSMプラットフォームがあれば、ビジネス目標に最適化されたITサービスを、適正なコストで確実に提供できるため、IT活用の戦略性が大幅に強化されます。



## Maximo Navigator

Maximo Navigatorは、図面やパーツ構成、帳票、写真、手書き資料を含めた非定型文書を電子データで統合、IT資産に関する全ての情報を一元的に管理できます。しかも、視覚的なインタフェースを備えているため、緊急の修理などにもユーザが容易に対応できます。



IT資産の場所やパーツデータまでを視覚的に把握

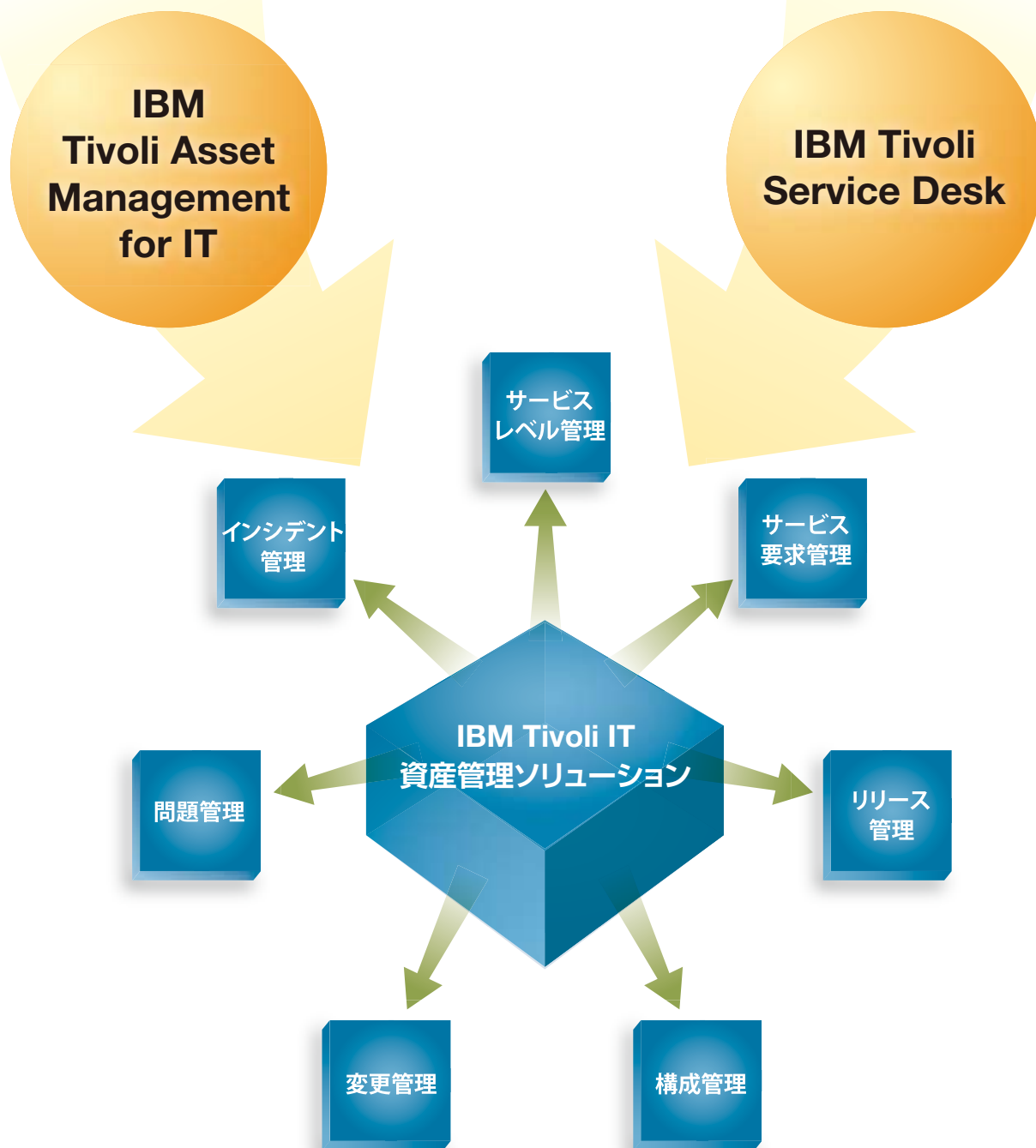


## IBM Tivoli Asset Management for IT IT資産の「今」を動的に管理

IBM Tivoli Asset Management for ITは、IT資産の明細、財務情報、契約情報などを統合し、ライフサイクル全般に渡る効果的なトラッキングや管理を可能にします。IT資産のトラッキング、照合、ライセンス管理、コンプライアンス管理、契約管理、調達管理などがワークフローのプロセス単位でサポートされ、社内のユーザは直感的なインターフェースで処理を行うことができます。

## Tivoli Service Desk SLAベースで実効性の高いサービスデスクを実現

Tivoli Service Deskはヘルプデスクの窓口機能、インシデントなどのエスカレーション機能、サービスレベルのKPIに関するダッシュボード機能などを備え、サービスデスク業務の効率化、ITサービスの質的向上、障害の最小化を強力に支援します。また、様々なコンポーネントを通じて、ITILフレームワークに適合したサービス・サポート機能を提供します。



## 7つのITILプロセスでPinkVerify Enhancedを獲得

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは、ITIL対応を評価するPinkVerify認定で最高のPinkVerifyEnhancedを取得しています。Pink Elephant社は、4つのITILプロセスに対応した製品から認定を行いますが、PinkVerify Enhancedは7つのITILプロセスに対応した製品に与えられる最高の認定レベルです。



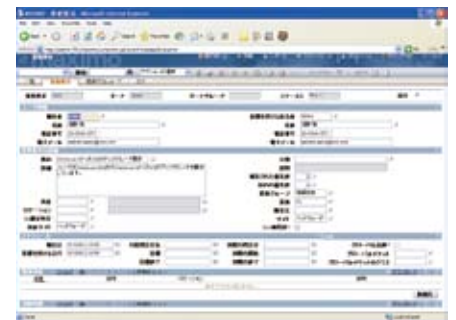
# ITILに完全対応した7つの管理モジュールがニーズの違いに対応し、 短期間で最高のソリューションを提供します

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションでは、ITILの主要な目標である運用コストの削減、システム障害のリスク回避にとどまらず、IT資産の企業収益に対する貢献度、ワークフロー効率の改善などをテーマに、個々の企業特性や事業目標、戦略の変化に適応したITサービス管理が可能になります。

## サービスデスク

### ビジネス効果の高い優れたITサービスを実現する窓口機能

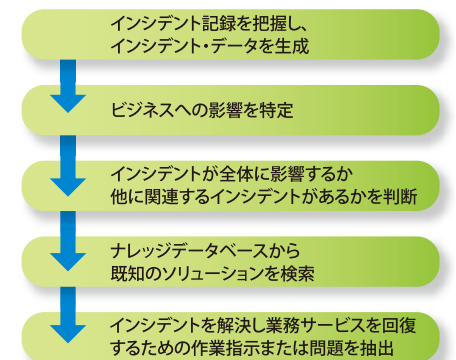
IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは、強力なサービスデスク(要求管理)機能を備えており、ユーザから寄せられた全ての要求について、ログの取得、処理のルーティングを自動的に行います。基本的にユーザからの要求に対しては、セルフサービス形式、またはコールセンターによる対応が行われ、要求内容に応じたワークフローやビジネスルールがあらかじめ定義されている場合は、それに従います。これによって、ユーザが業務遂行上で直面する様々なニーズに迅速かつ効率的な対応を行うことが可能となります。情報システムの機能をビジネス・ニーズに適合させるために重要な役割を果たします。



## インシデント管理

### 障害発生などのインシデントを素早く処理、ビジネスへの影響を最小化

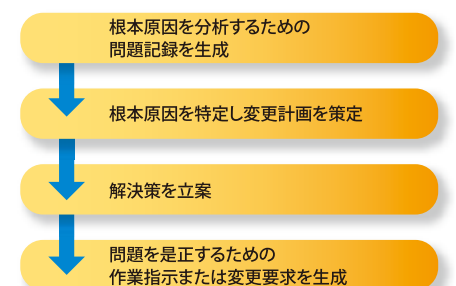
インシデントが発生した際に、ログの取得やサポート要員の確保、状況の分析にかかる時間を短縮し、迅速にサービスを回復します。IBM Tivoli IT資産管理ソリューションでは、リモート分析ツールや処理手順のテンプレートを用意し、サポート要員が必要な情報をソリューション・データベースからその場で入手して復旧作業に当たれるよう支援します。さらに専門家やエンジニアによる作業が必要な場合には、障害発生場所や求められるスキルなどを考慮した引き継ぎを自動的に手配することも可能です。これら実際に取られた対処状況はトラッキングされ、問題管理のトレンド分析に有効活用されます。



## 問題管理

### 既知の問題や潜在的なリスクを事前に把握・改善し重大な障害の発生を予防

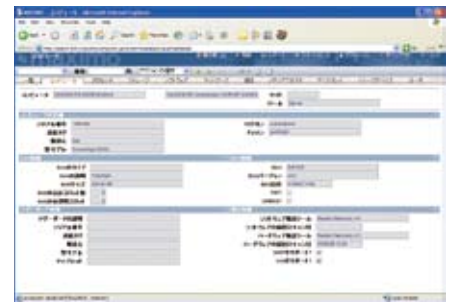
IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは、インシデントの発生を事前に予測するための充実したツール群を備えています。これらのツールによってインシデントの発生傾向などがデータベースに蓄積され、発生しやすい問題を問題管理モジュールで特定し、詳細な分析を行います。根本的な問題が発見された場合は、それらを排除する、あるいは緩和策を取るための作業を計画し、実際に要員をアサインするといったワークフローを視覚的なインタフェース上で管理することができます。変更管理とのシームレスな連携により、変更時の障害発生も予防するなどシステム全体の信頼性向上を推進します。



## 構成管理

### ITサービス管理の根幹となるCIの効果的なトラッキングと管理

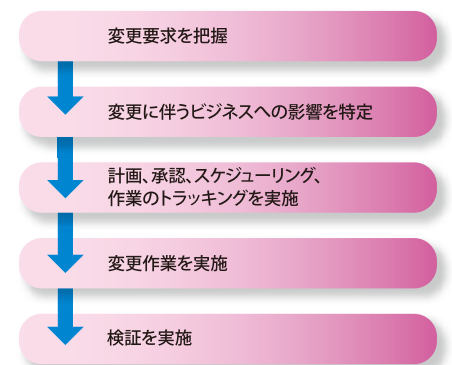
ITILでは、IT資産に関する情報を1つのリポジトリ(CMDB)上で把握、照合、管理するプロセスとして構成管理を定義しています。このリポジトリはCI(Configuration Item)データのソースとして、ITサービスの成功に欠かせないものとなっています。IBM Tivoli IT資産管理ソリューションでは、EAM分野で培った先進のテクノロジーとソリューション提供ノウハウを活かし、統合されたCMDB上で種類やレベルの異なるIT資産を動的にトラッキングし、複雑な構成のIT資産を統一されたインタフェースで効果的に管理することができます。



## 変更管理

### 情報システムの変更を業務に影響与えることなく安全に実行

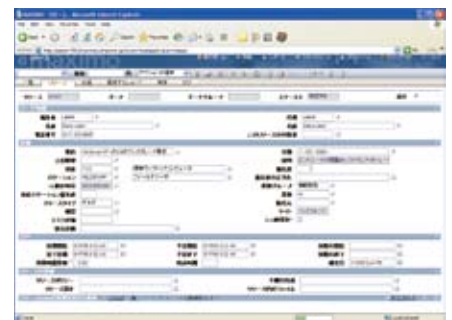
障害発生は、その多くがずさんなシステム変更に関係しているという調査結果があります。IBM Tivoli IT資産管理ソリューションの変更管理モジュールは、強力な作業計画作成機能を備えており、ミスや不測の事態の排除に効果を発揮します。グラフィカルなワークフロー管理のソリューションによって、変更に関連する部署や担当者が情報を共有し、必要な承認を受けてから変更を実施する環境が整えられます。また、作業状況のトラッキングを行い、計画との差異によって必要となる各種の調整やコスト面での管理も詳細に行えるため、安全性の高い理想的なシステム変更が可能になります。



## リリース管理

### 適切なバージョン管理、安全なリリースを通じてアプリケーションを強化

新しいアプリケーションの導入、システムのバージョンアップを行う際には、その仕様が既存のシステム環境に適応し正しく使用されることを確認する必要があります。また、更新の対象となるソフトウェアやハードウェアの場所や状況を事前に把握する必要があります。IBM Tivoli IT資産管理ソリューションでは、変更管理モジュールがリリース管理の機能を包括的に持っており、CMDBからこれらソフトウェア、ハードウェアに関する情報を取得して、リリースの内容を把握、分類したうえで、システム全体における変更管理までをシームレスに行うことができます。



## サービスレベル管理

### ユーザが望むサービスレベルを常時確保し、IT資産の最適稼働を確保

IBM Tivoli IT資産管理ソリューションは、IT部門がサービスの内容やサービスの質を明確に定義できるよう支援します。これまでのソリューションとは異なり、ITサービス部門の担当者は、実際の業務に対してどのように貢献できるかといった、ビジネスに焦点を当てたサービスレベルの定義を行うことができます。KPI(Key Performance Indicator)をサービスレベルのパラメータに設定して、時間の経過に伴う変化をトラッキング、サービスレベルの傾向を分析することができるため、ユーザへの影響が出る前にサービスレベルの低下を予防するといった対策が可能となります。



# IBM Tivoli Asset Management for ITのオプション製品

IBM Tivoli Asset Management for ITには、業務ニーズに応じて機能を拡張できるよう、充実したオプションが用意されています。

## Maximo Fusion

他社製の自動検出ツールとの統合を短時間で可能にします。Tivoliや他社ツールなど既存システムへの投資を保護しながらIBM Tivoli Asset Management for ITの高度な機能を利用することができます。

## モバイル・RFIDソリューション

ユーザが、ノートPCをはじめ様々な携帯端末からIBM Tivoli Asset Management for ITのシステムにアクセスし、サービスの依頼やサービスの管理などを即座に行えるよう、モバイル機能を付加します。

## マルチサイト・言語・通貨サポート

複数の国内外拠点の管理や、現地語・現地通貨での運用が可能になります。

- ・複数の工場や施設を管理する「マルチサイト」機能
- ・20カ国の言語をサポートする「マルチ言語」機能
- ・様々な通貨をサポートする「マルチ通貨」機能

## Maximo Enterprise Adapter

様々な他社製システムとのインタフェースを可能にします。SAP、PeopleSoft、Oracleなどの基幹システム、地図情報、CAD、信頼性評価システムなどとの連携を簡単に行えます。

## Maximo Project Manager

Microsoft画面上でIBM Tivoli Asset Management for ITのデータを閲覧し、必要に応じてIBM Tivoli Asset Management for ITのデータを自動的に更新できるようにするツールです。

製品の詳細情報については、ホームページをご覧ください。

[ibm.com/jp/software](http://ibm.com/jp/software)

IBM および Maximo, Tivoli は、IBM Corporation の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。Action Media、LANDesk、MMX、Pentium および ProShare は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Intel、Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12  
06-07 Printed in Japan

IBM製品・詳細情報については、  
IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/>

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員  
または、ダイヤルIBM (☎0120-04-1992) へ。  
受付時間：月～金 9:00～18:00 (祝日12/30～1/3を除く)  
携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。  
ダイヤルIBM 03-6220-8002 (この場合通話料はお客様のご負担となります。)

'07-06月版

●このカタログの情報は2007年6月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。●本事例中に記載の頁数や数値、固有名詞等は初掲載当時のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。●事例は特定のお客様での事例であり、全てのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。●製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。